

## 第 70 回 品質保証分科会 議事録

1. 日 時 2026 年 3 月 4 日 (水) 13 時 30 分～15 時 10 分

2. 場 所 一般社団法人 日本電気協会 4 階 C 会議 (Web 併用会議)

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

出席委員: 山田分科会長(慶応義塾大学), 須田副分科会長(テクノファ), 河本幹事(北海道電力), 徳久(三菱重工業), 佐藤<sup>智</sup>(日立 GE ヘルシバ), 工藤(東芝エネルギーシステムズ), 杉谷(三菱電機), 鈴木(富士電機), 小松(電源開発), 小野瀬(東北電力), 鈴木(中部電力), 平田(中国電力), 岡本(九州電力), 田中(関西電力), 仲村(東京電力 HD), 豊田(四国電力), 正木(北陸電力), 佐藤<sup>修</sup>(鹿島建設), 本島(大成建設), 光井(清水建設), 齋藤(三菱原燃), 中江(原子燃料工業), 蓮池(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン), 藤谷(日本原燃), 福田(日本原子力研究開発機構), 佐藤<sup>吉</sup>(元東京海洋大学), 吉田(熊本大学名誉教授), 中條(中央大学), 橋本(発電設備技術検査協会), 菅谷(日本エヌ・ユー・エス),

(計 30 名)

代理委員: 砂田(IHI, 友田委員代理), 梶谷(日本原電, 細谷委員代理)

(計 2 名)

欠席委員: 友田(IHI), 細谷(日本原子力発電), 川上(日本製鋼所 M&E), 景井(ビューロベリタスジャパン), 中西(慶応義塾大学),

(計 5 名)

常時参加者: 佐々木(原子力規制庁), 瀧田(原子力規制庁)

(計 2 名)

説明者: 品質保証検討会 竹田副主査(関西電力), 小林(電源開発), 鈴木(元中部電力)

(計 3 名)

オブザーバ: なし

(計 0 名)

事務局: 浅見, 上野, (日本電気協会)

(計 2 名)

4. 配付資料: 別紙参照。

5. 議 事

事務局より, 本分科会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないこと及び Web 会議での注意事項を確認の後, 山田分科会長の開催挨拶があり, その後議事が進められた。

(1) 代理出席者，常時参加者，説明者，オブザーバの承認，定足数確認，配付資料の確認，分科会委員の再任等 他

事務局より，資料 No.70(1)1 に基づき，新委員 1 名の紹介があった。

第 96 回原子力規格委員会（2025.12.24）承認委員 1 名

鈴木（中部電力）

本日の代理出席者 2 名の紹介があり，分科会規約第 7 条（委員の代理者）に基づき，分科会長の承認を得た。確認時点の出席者は代理出席者も含めて 32 名であり，分科会規約第 10 条（会議）第 1 項に基づき，委員総数の 3 分の 2 以上の定足数（24 名以上）を満たしていることが事務局より報告され確認された。

常時参加者の異動は無いことが報告された。

次に，事務局より，説明者 2 名の紹介の後，配付資料については，事前送付されているので問題ないことを確認した。その後新委員による挨拶があった。

(2) 分科会タスク・検討会委員の変更（審議）

事務局より，資料 No.70(2)シリーズに基づき，分科会タスク・検討会委員の変更について紹介があった。下記に示す品質保証検討会新委員候補については，分科会規約第 13 条(検討会)第 4 項に基づき，品質保証検討会委員として承認するかについて，分科会規約第 13 条(検討会)第 15 項に基づき，Web の挙手機能により決議の結果，出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

【品質保証検討会】

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| ・ 退任予定 新田 委員（富士電機） | ・ 新委員候補 吉川 氏（同左） |
| ・ 退任予定 東山 委員（東北電力） | ・ 新委員候補 佐藤 氏（同左） |
| ・ 退任予定 大西 委員（四国電力） | ・ 新委員候補 土居 氏（同左） |

【ワークショップ検討タスク】

- ・ 主査 河本幹事に交代（三浦幹事退任のため）

【JEAC4111 適用課題検討タスク】

- ・ 主査 山田分科会長に交代（分科会長交代のため）
- ・ 副主査 河本幹事に交代（三浦幹事退任のため）

(3) 前回分科会議事録の承認（審議）

事務局より，事前に確認を受けた資料 No.70(3)1 の前回議事録（案）の紹介があり，正式議事録とすることについて，分科会規約規約第 12 条（決議）第 4 項に基づき，Web の挙手機能により決議の結果，出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

#### (4) 前回分科会以降の状況報告（報告）

事務局より、資料 No.70(4)シリーズに基づき、前回分科会以降の状況について報告があった。

- ・ 原子力関連学協会規格類協議会にてステートメント改定の議論が進行中（日本原子力学会 山本委員長が草案作成，各学協会で見聞募集，次回協議会で議論を予定）
- ・ 1月9日に電事連事務局より ATENA と NRA の意見交換結果を受領。（次回改定のインプット情報として位置づけ）
- ・ 2月9日・10日に対面で JEAC4111 専門コース講習会を実施
- ・ 第74回品質保証検討会での委員意見を共有（2点）
  - ① 前回議事録に「原子力規制庁から言われた」旨の発言が記載されているが，公式議事録等のエビデンスがなく位置づけが不明確であり，情報共有はありがたいが，位置づけは明確にお願いしたい。
  - ② JEAC4111 は GSR Part2 と整合しており，リーダーシップフォーセーフティ（内部通報制度等の整備を含む）についても附属書2で具体化している旨を認識してほしい

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 補足すると JEAC4111 は GSR Part2 とほぼ整合する定義・附属書を有しており，IRRS の場合もその旨を認識して頂きたい。

#### (5) 2026年度品質保証分科会活動計画について（審議）

品質保証検討会 竹田副主査から資料 No.70(5)1, 2に基づき 2026年度品質保証検討会分科会活動計画について説明があった。

品質保証検討会 普及促進チーム 小林リーダーから資料 No.70(5)3に基づき講習会計画について説明があった。

- ・ 資料 No.70(5)1, 2 は，基本方針タスクを経て NUSC で審議・承認され，資料 No.70(5)1 は HP にも掲載される。
- ・ 活動計画の3本柱：①改定に必要な情報収集・規程への反映検討，②要員の力量維持，③講習会等による規程の活用・理解促進
- ・ 以下2か所を修正する。
  - ① 資料 No.70(5)1 P9 「JEAC4111 は三学協会が定める規格の傘となる性格」→「JEAC4111 は三学協会（日本原子力学会，日本機械学会，日本電気協会）が定める規格の傘となる性格」
  - ② 資料 No.70(5)2 「制・改・廃の見通し」欄 「なし」→「改定検討開始」のような表現に変更（他の分科会と合わせる。）

2026年度品質保証分科会活動計画について分科会規約第12条(決議)第4項に基づき，Web の挙手機能にて決議の結果，出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 原子力規制庁だが、資料 No.70(5)2 の改定の見通しの欄になしと記載されているが、改定検討開始と記載されていて、矛盾している。改定しないと誤認される恐れがある。
  - 改定基本方針検討タスクが立ち上がるので、「改定検討開始」のような表現に変更する。
- ・ 資料 No.70(5)1 に記載されている「三学協会」「傘となる性格」の表現が分かりにくい。
  - 「三学協会」は電気協会・原子力学会・機械学会の3団体を指す用語であり、一般の人が見ても分かるように正式名称を括弧書きで追記する。
  - 「傘となる性格」はアンブレラ規格 (Umbrella Standard) に相当する概念である。改定基本方針文書に基づく表現として引き続き使用する。

#### (6) 技術資料（品管規則対照表）について（審議）

品質保証検討会 竹田副主査より、資料 No.70(5)シリーズに基づき、技術資料（品管規則対照表）「品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係」のご意見への回答について説明があった。

- ・ 規約上、技術資料は挙手による承認と記載があるが、今回は新規作成であることから、書面投票による決議をお願いする。期間は30日以内であるが、30日で設定することを承認いただきたい。
- ・ 準備ができ次第、書面投票を実施する。同時にHP公開における著作権についての調整も実施する。

技術資料（品管規則対照表）「品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係」の承認方法として30日の期間で書面投票を実施することについて分科会規約第12条(決議)第4項に基づき、Webの挙手機能にて決議の結果、出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ コメント回答から ATENA と NRA の面談結果について、前向きに反映する方向であることは認識できたが、面談結果については電気協会側でいつ・どの範囲まで共有されていたか、また議事録の共有はないのか
  - 電事連事務局から議事メモは2回ほどいただいており、3役には共有していたが、最終的な正式版は1月9日に受領し、原子力規制庁HPでも確認の上、関係者全員へ共有した。
  - 電事連の議事メモは、原子力規制庁の確認がなされていないことから、公式の議事録ではない、情報としては大変ありがたいが、電気協会として取り扱うためには、公式議事録でなければならない。
  - 議事録とは会議に参加された方々の確認が必要であり、一方だけでは正式なものとしては扱えない。
  - 承知した。面談の議事メモには、品管規則との整合の観点で有益な情報があるので、説明する打ち合わせの設定をお願いしたい。
  - 必要であれば設定するが、規約（公平、公正、公開）に合致していることが必要である。

(7) JEAC4111 次回改定について（審議）

河本幹事より、資料 No.70(7)1 に基づき説明が行われた。

- ・ 第 69 回品質保証分科会で一度ご覧頂き、その時のご意見を反映したもの。
- ・ JEAC4111 改定基本方針検討タスクの設置について分科会規約第 12 条(決議)第 4 項に基づき、Web の挙手機能にて決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 「適用課題検討タスクの検討結果の反映」はタスクの報告書が相当し、4 番目の技術資料との関連性が高いので、その前後に配置するべきである。
- 4 番目の後に移動する。
- ・ 原子力規制庁だが、情報提供として IAEA GSG-3.1 が今年発行される見込みである。GSR Part2 の改定作業も開始予定である。
- GSG-3.1 と言われましたが、GSG-3.5 も改定される可能性はあるのでしょうか。
- そちらも、GSRPart2 改定に合わせて改定される方向にあるようです。
- ・ 原子力規制庁さんは前回の分科会で改定基本方針タスクにご参加頂けると聞いているが、変わりはないか。
- 原子力規制庁だが、前回そのように話したので、業務との兼ね合いもあるが、極力参加することを考えている。

(8) 品質保証検討会からの報告（報告）

2025 年度 JEAC4111 専門コース講習会実施状況（速報）

小林普及促進チームリーダーより、資料 No.70(8)1 に基づき、実施報告（速報）があった。

- ・ 開催日時：2025 年 2 月 9 日・10 日（対面のみ）
- ・ 募集 36 名に対し申込 20 名、うち 1 名欠席で最終受講者 19 名  
班編成：5 名班・4 名班の 2 タイプ（「議論しやすい人数」と好評）
- ・ アンケート結果（択一式）：19 名中 18 名が「大変ためになった」または「少しためになった」と回答、「普通」が 1 名。
- ・ 約 8 割が「職場の人に受講を勧めたい」と回答。対面方式について「インストラクターに直接質問できる機会が貴重」との肯定的コメントが多数あり、次年度も対面方式の方向で進める方針である。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 実務コースと専門コースでアンケート評価に差がある理由はなにか。
- 実務コースは旧版との差分説明中心の構成であり、品証業務経験の浅い受講者（約半数が 1 年未満）には難しく感じられた可能性が高い。次年度は基本から説明できる構成への見直しを検討する。

## (9) その他

- ・ NRA と ATENA の意見交換結果の受領について（報告）

河本幹事より、資料 No.70(9)1 に基づき、第 18 回検査制度意見交換会合（ATENA と NRA の 3 回の面談をまとめたもの）の概要について報告があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 本会議はオープントップパブリック（一般公開）であり、ATENA と品質保証分科会は役割が異なることを認識し、社会および利害関係者に対する規格策定委員会としての立場を明確に意識すべきである。
- ・ 品管規則との整合を確保するため ATENA から直接説明を行える打合せを設定し、分科会長、前分科会長のご出席をお願いしたい。

→ 過去にも 1 度対面でも行っているが、ご要望があれば設定させていただく。

- ・ 原子力規制庁からの情報提供

原子力規制庁から IRRS の報告（1 月末～2 月頭に実施）については 2 月 10 日の規制委員会資料を参照するよう案内があり、正式報告書は 5 月頃の公表予定であることが補足された。

- ・ 次回開催について

次回開催については、今回書面投票を実施するので、結果によっては、再度開催する可能性も否定出来ないが、新三役の予定を調整し対応する。

9 月 1 日から実務コース講習会を開催するとなるとその 2 か月前（7 月 1 日）には実施の承認を頂いておかないとならないため、6 月には開催することになる。

以 上

## 第 70 回品質保証分科会配布資料

- 70(0) 第 70 回品質保証分科会 議事次第 r0
- 70(1)1 品質保証分科会名簿 (2026 年度 3 月 4 日現在)
- 70(1)参考 1 品質保証分科会名簿 (NUSC HP 掲載版)
- 70(2)1 品質保証検討会名簿
- 70(2)2 ワークショップ検討タスク名簿
- 70(2)3 JEAC4111 適用課題検討タスク名簿
- 70(2)参考 1 品質保証検討会体制表(業種別)
- 70(3)1 第 69 回品質保証分科会議事録 (案)
- 70(4)1 第 69 回品質保証分科会以降の状況 (各会議体の議事録等)
- 70(4)参考 1 第 81 回原子力関連学協会規格類協議会 議事録 (案)
- 70(4)参考 2 第 88 回基本方針策定タスク 議事録(案)
- 70(4)参考 3 第 96 回 NUSC 議事録 (案)
- 70(4)参考 4 第 74 回品質保証検討会 議事録 (案)
- 70(4)参考 5 原子力関連学協会と原子力規格委員会 組織図
- 70(5)1 2026 年度各分野の規格策定活動 (案)
- 70(5)2 2026 年度活動計画(案)品質保証分科会
- 70(5)3 2026 年度講習会計画 (案)
- 70(6)1 分科会コメント処理表 (回答)
- 70(6)2 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係\_前書き
- 70(6)3 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係\_0-3 章
- 70(6)4 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係\_4-6 章
- 70(6)5 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係\_7 章
- 70(6)6 品管規則及び解釈と JEAC4111-2021 の対応関係\_8 章
- 70(7)1 JEAC4111 改定に向けて
- 70(8)1 2025 年度 JEAC4111 講習会専門コースの実施結果について(速報)
- 70(9)1 第 18 回検査制度意見交換会合 (品証パート)